

## いしかわの森づくり検討委員会（第2回）議事要旨

### < 森林・林業に関わる活動等の事例について >

（石下哲雄「石川県健康の森 総合交流センター 館長」）

「私の目指す林業 - 遊び心で 楽しい 夢の山づくりを - 」

【概要】利益追求型の林業が難しくなっている今、遊び心を持って楽しい山づくりをする発想を持つことと、山は個人から社会全体のものという認識を持つことが大切である。

（濱田昭夫「珠洲漁業士会会長」）

「森と漁業者との関わり（いしかわの漁民の森づくり運動）」

【概要】「漁民の森づくり運動」を通じて、漁業者が森林等の重要性を理解し、下刈りや漁港の清掃等の活動状況を報告する。

### < 森林の有する公益的機能について >

（丸山委員長）

話題提供として、日本は外材を多く輸入しているが、輸出する相手国では、森林の公益的機能に支障をきたしているところがある。

（石倉委員）

石川県の森づくりを検討するにあたり、珠洲の「漁民の森づくり運動」などの取組を、県内に広げていくことが大事である。また、今日の活動事例を地域の子供達にも普及すべきである。

（米谷委員）

森林の公益的機能の評価額は、大変大きい額であることをもっと前面に出し、また、森を守っていくためには、NPOやボランティアを活用するなど、県民の意識を高めていくことが、必要である。

（西村委員）

森林・林業については、経済問題でとらえると解決することは非常に難しいため、環境問題として検討すべきである。

森林の公益的機能の評価額などの価値を、もっと外部に発信すべきである。

（角委員）

森林の荒廃が進んでいくと、県民生活に影響を及ぼすことが心配され、森林を守ろうということを県民全体に分かりやすく啓蒙することが大事である。

(鶴山委員)

二酸化炭素の固定や魚の生息環境の保全といった森林の大切さ、県木アテなどの県産材の良さを県民や木材関係者に、知らせる必要がある。

(中島委員)

森林の公益的機能にもいろいろあるが、林産物の生産より環境に関する機能のほうに評価が高まってきている。そういう観点から検討する必要がある。

(佐々木委員)

木材は輸入可能であるが、森林の機能は輸入できないし、他県からも持ってくるできない。これはまさに、地方自治体が行うべき仕事であり、県民で支えていく必要がある。そのための費用負担としての税は、納税者の理解が前提となる。

(南委員)

皆さんの話をお聞きして、森林の大切さを痛感しており、今の子供達に、このことを教えてあげられたらいいと思う。

(木場委員)

現実的な問題として、竹林の拡大が各地で問題になってきている。

(有川委員)

林業の採算性の悪化により、森林所有者の経営意欲が減退し、手入れをしなくなって森林の荒廃が進み、森林の公益的機能が低下してきている。この現状を良くするために、この委員会で検討していきたい。